

## 峠の地蔵さん

野分の渡る峠道に

黙つて立つてる地蔵さん

愛想笑いもせずに

下の村の様子を見詰めて居た

ドングリ眼を光らせて

野分に晒され立って居た

当てにならないお愛想よりも

どでかくでんと立ちはだかつて

苦虫噛んでる地蔵さんが

何よりも頼もしかった

前を通つては去つて行く村人

お辞儀して行く人も居る

手を振つて行く人も居る

ただ微笑むだけの人も居る

黙殺して行く人も居る

ほつとして草鞋の紐を結び直す人も居た

三十年過ぎて村も歳を取つた

地蔵さんも歳を取つた

そろそろ地蔵さんも草鞋を履く

野分だけが

寂しげに

音を立てて流れて行く

(2008.5.4 管理人Oさんが退任すると聞き)